

平成 23 年 4 月 7 日  
平成 23 年 4 月 10 日 改訂  
平成 23 年 4 月 28 日 改訂  
平成 23 年 6 月 23 日 改訂

## 簡易型放射線測定器を個人でお持ちの一般の方へ

公益社団法人 日本放射線技術学会 計測分科会  
放射線防護分科会

空気中や野菜などの微量の放射線を測定するには、NaI シンチレーションサーベイメータという機器が用いられています。この NaI シンチレーションサーベイメータは、数十万円はする高価で感度の高い測定器であり、さらに通常は国家の標準との調整（校正を取るといいます）を毎年行いその精度を維持している測定器です。

現在、市中で一般に販売されている放射線測定器は、簡易的な GM（ガイガーミュラー）式測定器（ガイガーカウンターなどとも呼ばれています）や CsI シンチレーションのものがほとんどです。これら測定器は簡易型であるため、国家標準との校正もとっていないものと思われ、NaI シンチレーションサーベイメータと比べて感度が低いものがほとんどです。現在の首都圏での空気中の放射線量は、簡易型放射線測定器の測定能力から見れば比較的小さい値であるため、測定器が本来持っている誤差に大きく影響されてしまうような線量レベルです。その結果、簡易型測定器の測定結果と公的な専門機関などが公表している測定値と違っているということも起きてしまいます（注：モニタリングポストのような、地表より高い地点での測定値との比較についてはありません）。

以上より、個人でお持ちの簡易型放射線測定器は、あくまで簡易型であることからその精度や感度に限界があること、さらには目的に合った測定器の選択をし、その測定方法を十分に熟知した上でご利用されますようお願いいたします。